

ガルーダ・インドネシア航空 2012年第3四半期の業績を発表

TYOGA-28-NOVEMBER/12

ガルーダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア 社長兼最高経営責任者:エミルシャ・サタル)は、2012年10月25日に、2012年第3四半期の業績を公示し、連結売上高として23.9億USドル(前年同期比14.9%増)を計上、営業利益(航空運送事業)は9,275万USドル(前年同期比140.4%増)、またその他包括利益は、6,080万USドル(前年同期比108.2%増)を記録したことを発表しました。

2012年第3四半期(連結)の業績は以下の通りです。

	2012年第3四半期	2011年第3四半期	増減率(%)
売上高	23.9億USドル	20.8億USドル	+14.9%
営業利益	9,275万USドル	3,860万USドル	+140.4%
包括利益	6,080万USドル	2,920万USドル	+108.2%
旅客数	1,489万2,743名	1,238万5,025名	+20.2%
搭載貨物	20万1070トン	16万9334トン	+18.7%
ASK(有効座席キロ)	268億7,000万	240億5,000万	+11.7%
イールド	9.55USセント	9.49USセント	+1.0%
運航便数	11万1,251便	9万4,899便	+17.2%
機材稼働時間	10時間47分	10時間42分	-
ロードファクター	75.86%	75.16%	+1%

これらの財務実績における業績向上は、ガルーダ・インドネシア航空の2015年までの経営戦略「クオンタムリープ」に基づくものです。

ガルーダ・インドネシア航空会社について:

ガルーダ・インドネシア航空は、1949年設立のインドネシアを代表する航空会社。日本就航は1962年3月。今年日本就航50周年を迎えた。2012年7月にはイギリスの格付け会社スカイトラックス社より、「The World's Best Regional Airline」「The Best Regional Airline in Asia」を受賞。また、オーストラリアの調査会社、ロイ・モーガン社の顧客満足度調査にて「Best International Airline」を1月・2月・7月と3度受賞。現在新規材の購入を進めており、2012年末までに保有機体数は105機、平均機体年齢は5.8年となる予定。また、2015年までには保有機体数は194機に、さらなる平均機体年齢の引き下げ、そしてスカイトラックスの5スター認定獲得を目標にしている。

